

# M2B(みつば) 学習支援システム講習会 実践演習

---

基幹教育院

ラーニングアナリティクスセンター

2016年後期



九州大学 基幹教育院  
ラーニングアナリティクスセンター  
Learning Analytics Center

## <演習内容>

1. Moodleでのアンケート作成と活用方法
2. Moodleでのレポート提出・受取り方法
3. Moodleでの出欠の取り方
4. Maharaの活用方法
5. BookLooperの活用方法

それでは、使いながら、利用してみましよう。  
まず、無線LANに接続してください

- edunet  
ユーザ名 : SSO-KID@edunet
- kitenet
- ユーザ名 : SSO-KID@kitenet

# M 2 B 学習支援システム サイト

<http://m2b.kyushu-u.ac.jp>



# Moodle ログイン

- M2B 学習支援システムサイトから Moodle にアクセス

The screenshot shows the M2B (Moodle 2.0 Based) system interface. On the left, a sidebar contains the Moodle logo and a red arrow pointing to the main content area. The main content area has a yellow header bar with the text "九州大学 e ラーニングシステム" and a login status "あなたはログインしています。(ログイン)". A red circle highlights the "(ログイン)" link. Below the header, there is a "メインメニュー" (Main Menu) section with links to "サイトニュース" (Site News) and "ナビゲーション" (Navigation). The "ナビゲーション" section includes links to "Home", "サイトニュース", and "コース" (Courses). On the right, there is a "サイトニュース" (Site News) section with a notice about the "M2B 定例交流会" (M2B Regular Exchange Meeting) held on January 7, 2016. The notice includes the date, time (16:40 ~ 17:30), and location (Center 3rd floor, Room 3501). A red box highlights the text "SSO-KIDでログイン" (Login with SSO-KID). Below the red box, there is a list of links: "Moodle/Maharaマニュアル" (Moodle/Mahara Manual) and "BookLooperマニュアル" (BookLooper Manual).

九州大学 e ラーニングシステム

あなたはログインしています。(ログイン)

メインメニュー

- サイトニュース

ナビゲーション

- Home
- サイトニュース
- コース

サイトニュース

「M2B定例交流会」開催の  
2016年 01月 7日(木曜日)

九州大学教職員を対象に、  
有を目的とした交流会を開催  
ルを参照ください。

日時: 1/21(木), 2/19(金), 3/23(水)

16時40分～17時30分

場所: センター3号館5階 3501室

5

SSO-KIDで  
ログイン

- Moodle/Maharaマ  
ニュアル
- BookLooperマニ  
アル

# 「M2Bシステム\_ガイドコース」にアクセス

## 教職員用コース

マイコース

- 🔄 その他公開資料
- 🔄 アンケート
- 🔄 教職員・学生用コース  
よくわかるOffice, 情報倫理など
- 🔄 教職員用コース
- すべてのコース

### M2Bシステムについて

#### M2Bシステム\_ガイドコース

Moodleの「アンケート」「レポート」「出欠」や、Maharaの活用方法、BookLooperの活用方法についての説明とともに、実践用としてこのコース内で自由に試していただくためのコースです。

自己登録すると、「教員」ロールとして登録されます。

**登録パスワード：M2B.kyushu-u**（※決して学生には公開しないでください）

#### M2Bシステム\_授業サンプルコース

基幹教育授業で実際に使用されているコースを元にした、授業サンプルコースです。  
どのように授業で利用できるのか？などの参考にしてください。

自己登録すると、「教員」ロールとして登録されます。

**登録パスワード：M2B.kyushu-u**（※決して学生には公開しないでください）

# Moodle

## ～ 自己登録方法について ～

登録オプション

🎓 M2Bシステム\_ガイドコース

---

自己登録（教員）

---

登録キー

☐ マスク解除

授業で使用するコースは  
事前に教員登録されます。  
自己登録は不要です

M2B.kyushu-u

※デフォルトでは、  
登録キー無しで  
自己登録できます

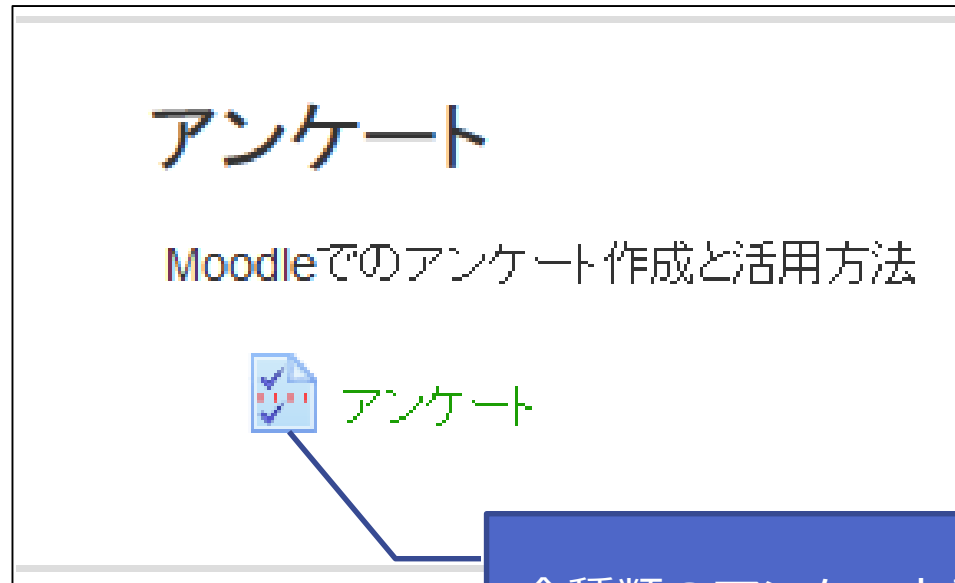
※このコースでは、自己登録したユーザーは「教員」ロールで登録されます。

# 1. アンケートを作成する

授業中、リアルタイムに学生にアンケートをとることが出来ます

## <アンケート項目>

- はい・いいえ
- チェックボックス
- ドロップダウン式
- ラジオボタン式
- ラベル
- 数値形式
- 日付
- 測定尺度
- 短文記述形式
- 自由記述形式



全種類のアンケート項目が入ったアンケート



# アンケート結果を閲覧する

実践

eラーニングシステム

noodle

1. 「アンケート」を選択



アンケート

2. 「全回答の閲覧」を選択

高度な設定 アンケート項目 プレビュー あなたの回答

全回答の閲覧 非回答者

概要 回答のリスト

デフォルトの並び順に閲覧 昇順 降順 すべての回答の消去

テキストフォーマットでダウンロードする

全回答の閲覧 すべての参加者 デフォルトの並び順に閲覧 ② 回答: 3

アンケート (チェックボックス)

1 <はい・いいえ>  
今日は朝食をとりましたか？

回答	平均	合計
Yes		0
No	<div></div> 100%	1
合計	<div></div> 33%	1/3

# アンケートを作成する

実践

e ラーニングシステム

moodle

下記 2 項目について、アンケートを作成してみましょう。

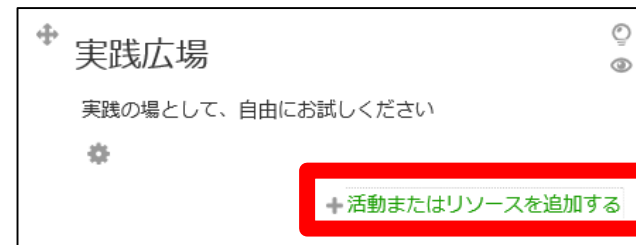
- チェックボックス . . . 多肢選択のアンケートが作成できます
- 短文記述形式 . . . 記述式のアンケートが作成できます

## 1. 「編集モードの開始」

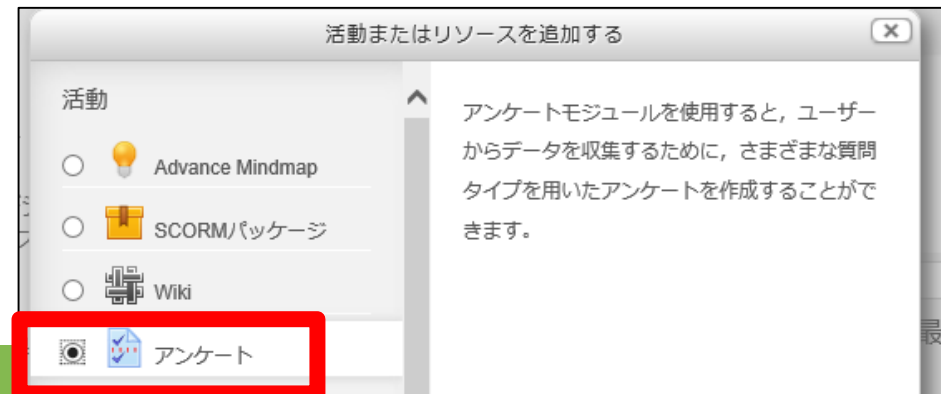


## 2. 「活動またはリソースを追加する」

実践広場  
をご利用ください



## 3. 「アンケート」を選択



## 4. 「アンケート名」を設定して 保存して表示する



# アンケートを作成する

実践

e ラーニングシステム

moodle

## チェックボックス


1. 「アンケート項目の追加」を選択
2. 「チェックボックス」を選択して  
「選択した質問タイプの追加」を選択

アンケート項目の追加 ?

チェックボックス



選択した質問タイプの追加

3. 「質問文」に質問内容を設定
4. 「回答の選択肢」に回答を設定（1行に1回答）
5. 
6. 「プレビュー」タブで確認しましょう

高度な設定

アンケート項目

プレビュー

非回答者



続けてアンケートを作成するには「アンケート項目」タブで戻ります

# アンケートを作成する

実践

e ラーニングシステム  
moodle

## 短文記述形式

1. 「短文記述形式」を選択して  
「選択した質問タイプの追加」を選択
2. 「質問文」に質問内容を設定
3. [変更を保存する](#)
4. 「プレビュー」タブで確認しましょう

### ▼ アンケート項目の追加 ⓘ

短文記述形式 ▼

選択した質問タイプの追加

高度な設定

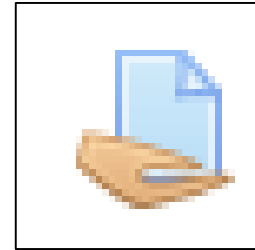
アンケート項目

プレビュー

非回答者

## 2. レポート課題

レポート課題を出すには、「課題」を使います



### <レポート提出タイプ>

- オンラインテキスト

オンラインテキスト

Rich text editor toolbar with icons for text formatting (bold, italic, underline, link, unlink, list, indent, outdent), text color, background color, and media insertion (image, video, file).

- ファイル提出

ファイル提出

新しいファイルの最大サイズ: 100MB / 最大添付: 1

File upload interface showing a dashed box for dragging and dropping files, with a large blue arrow pointing down and the text: ここにドラッグ&ドロップして、ファイルを追加することができます。

Edgeのブラウザをでは、  
正常にファイルがアップ  
ロードできません。  
他のブラウザを  
利用してください。

# 提出課題を確認する

実践

e ラーニングシステム

moodle

1. レポート課題をクリック

レポート課題



レポート課題

2. 「全ての提出を表示/評価する」を選択

## レポート課題

課題のサンプルです

### 評価概要

参加者	1
提出	0
要評価	0

すべての提出を表示/評価する

# 提出課題を確認する

実践

レポート課題

評価操作  
選択 ...

課題のダウンロード  
全ての提出をダウンロードする  
(ファイルの文字コードは“UTF-8”です)

選択	ユーザ画像	姓 / 名	メールアドレス	部署	状態	評点	編集	最終更新日時 (提出)	オンラインテキスト	ファイル提出	提出コメント	最終更新日時 (評定)	フィードバックコメント
<input type="checkbox"/>		九大次郎	jiro@artsci.kyushu-u.ac.jp	2TE23456C	評点のため提出済み	/ 100.00	編集	2016年07月6日(水曜日) 15:46	九大次郎のレポート課題 (オンラインテキスト) です ポートフォリオにエクスポートする	test (九大次郎).txt ポートフォリオにエクスポートする	コメント (0)		

学生に通知する No

すべてのクイック評定の変更を保存する

選択した行に対して ... 提出をロックする Go

オプション

1ページあたりの課題数 10

フィルタ フィルタなし

クイック評定 ☒

有効な登録のみ表示する ☐

レポートに点をつける  
①「クイック評定」にチェック  
②評点を設定  
③すべてのクイック評定の変更を保存する

### 3. Moodleで 出欠をとる

- **手動出席（初期設定）**：  
教員が講義中、または、講義後に出席状況を入力
- **半自動出席**：  
教員が指定したキーワードを、学生が講義中に入力すると出席
- **自動出席**：  
教員が指定した時間以内にMoodleコースにアクセスすると出席



# 出欠をとる（手動）

実践

eラーニングシステム

moodle

自動出欠ブロック → レポート → 日付をクリック

自動出欠ブロック

今日の出欠表  
出欠管理  
レポート

授業一覧 授業登録 レポート 評点設定 コースに戻る

出欠レポート :: M2Bシステム\_ガイドコース

Excel でダウンロード

テキストでダウンロード

全期間

全クラス

名 / 姓

ID

クラス

点

%

出

遅

早

欠

未

09/05 09/05 09/06 09/06 09/08



九大 次郎

2TE23456C

クラスなし

0

- %

0

0

0

0

0

-

-

-

-

-

授業一覧 授業登録 レポート 評点設定 出欠表 コースに戻る

「出」などをクリックすると一括設定できます

講義の出欠更新 :: M2Bシステム\_ガイドコース

全ての出欠

全クラス

リフレッシュ

授業実施日: 09月05日(月)

10時00分 - 11時15分

手法: 手動

説明: なし

学生の出欠を設定してみましょう

ID

クラス

出

遅

早

欠

未

手法

点呼時刻

IPアド

1



九大 次郎

2TE23456C

クラスなし

☒

☐

☐

☐

☐

未点呼

-

「OK」で設定を保存

OK

リセット

戻る



# 半自動・自動出席機能の注意点

## 不正に出席をとる学生の事例があります

- 教室外でログイン
- SSO-KIDおよびパスワードを友人に教えて代理ログイン



- 授業初回に、「不正出席が確認された場合は、単位を与えない場合がある」などの旨を周知
- 時々、口頭で出欠を確認する

# 4. Mahara活用方法

学生に授業日誌を書かせて、授業改善につなげます。

## M2Bシステム利用申込

- 授業を履修する学生の日誌が作成されます
- M2B事務局より共有日誌作成のご連絡が届きます

～LINK～

- 自分の日誌を書く
- 共有された日誌を見る

マニュアル

- M2Bマニュアル

その他

- システムの利用同意書を提出
- 新入生向け情報システムの説明
- M2Bシステム利用申込

学生に日誌を書かせる

共有された日誌を見る

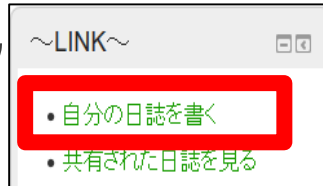
共有された日誌にコメントを書く

# Mahara 日誌を書く

学生はどうやって  
日誌を書くの？

## 1. 日誌 画面を開く

Moodleのリンク



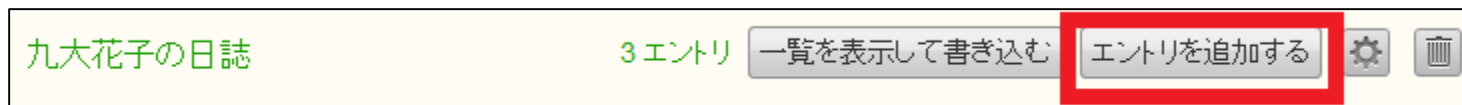
または

Maharaのリンク



## 2. 日誌を選択

「エントリを追加する」をクリック



## 3. 日誌を記入し、「エントリを保存する」をクリック

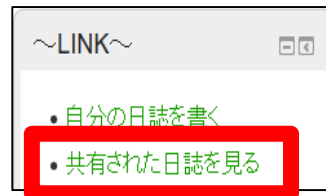
# Mahara 共有された日誌を見る

## 1. 日誌の共有一覧を開く

Moodleのリンク

または

Maharaのリンク



学生が書いた日誌を  
どうやって見るの？

## 2. 日誌の検索

「クエリ」欄にキーワードを入力

### 日誌の共有一覧

このページではあなたが他のユーザと共有し  
入力し、授業の回数を指定してGoを押して下

クエリ:

M2B

回数:

指定なし

Go

授業名で検索

### 日誌の共有一覧

このページではあなたが他のユーザと共有している日誌を表示します。「2015年度前期」などのキーワードをクエリ  
入力し、授業の回数を指定してGoを押して下さい。

クエリ: M2B

回数: 指定なし

Go

名称	回数	最新の日誌
2016年度・M2Bシステム演習デ スト日誌	1回	(1)今回の講義内容に関して、興味をもったこと、分かりにくかったこと 等、気づいたことを書いて下さい。 九大太郎 1回目のテスト書き込み
九大太郎 - 2016年 07月 11日 15:12		(2)上記以外、その他何でも書いて下さい。
		ですと
		コメント数: 0
		九大太郎 - 2016年 07月 11日 15:45
		フィードバックを投稿する 文章を読み込みフィードバックを 投稿する

# Mahara 日誌にコメントを書く

名称

2016年度・M2Bシステム演習  
テスト日誌

九大太郎 - 2016年 07月 11日 15:12

回数

1回

最新の日誌


(1)今回の講義内容に関して、興味をもったこと、分かりにくかったこと等、気づいたことを書いて下さい。

九大太郎 1回目のテスト書き込み

(2)上記以外、その他何でも書いて下さい。

てすと

コメント数: 0

 九大太郎 - 2016年 07月 11日 15:45

フィードバックを投稿する

文章を取込みフィードバックを投稿する

メッセージ

段落

B

I

☰

☷

🔗

🔗

🖼️

↶

↷

U

S

x<sub>2</sub>

x²

☰

☷

☰

☷

☰

☷

A

A

🔗

🔗

🔗

フォントフ...

フォントサ...

😊

📎

Ω

ABC

🔍

I<sub>x</sub>

🔍

<>

九大次郎のコメント記入です。

p

パブリックにする

添付ファイル

☑

参照...

+

フィードバックを投稿する

キャンセル

## ①「フィードバックを投稿する」を選択

## ②コメントを入力

### ③「フィードバックを投稿する」を選択

コメントが表示  
されました

**名称**

2016年度・M2Bシステム演習テスト日誌

九大太郎 - 2016年 07月 11日 15:12

1回

(1)今回の講義内容について、気づいたことを書いて下さい。

九大太郎 1 回目のテスト書き込み

(2)上記以外、その他何でも書いて下さい

ですと

コメント数： 1

九大太郎 - 2016年 07月 11日 15:45

九大次郎のコメント記入です。

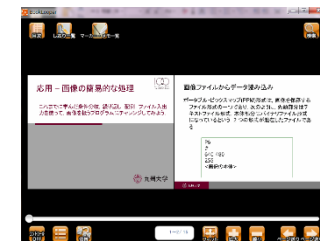
九大 次郎 - 2016年 07月 13日 15:49

フィードバックを投稿する

文章を取込みフィードバックを投稿する

## BookLooper利用の流れをご紹介します

# デジタル教材を閲覧



# BookLooper活用方法

BookLooper活用の流れをご紹介します

教材を準備 (PDF)

M2Bシステム利用申込

- 教材がBookLooperに登録されます
- M2B事務局より教材登録のお知らせ・教材URLが通知

～LINK～

- 自分の日誌を書く
- 共有された日誌を見る

マニュアル

- M2Bマニュアル

その他

- システムの利用同意書を提出
- 新入生向け情報システムの説明
- M2Bシステム利用申込

Moodleに教材URLへのリンクを作成

Moodleプラグインの利用で、  
学生の予習・復習状況を把握



# BookLooperを利用した 学習ログ 機能のご紹介

## 全体達成率



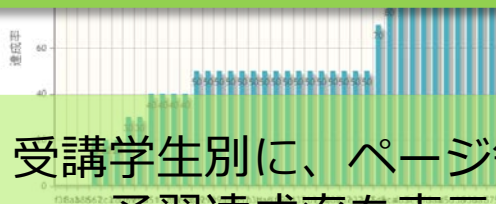
予習達成率毎の学生分布を表示

## ページ別閲覧時間



ページ番号別に、受講学生の  
閲覧平均時間を表示

## 個人別達成率



受講学生別に、ページ毎の  
予習達成率を表示

## マーカー

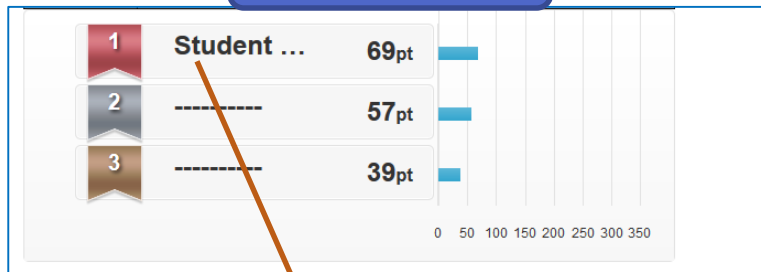


ページ番号別に、  
マーカーがひかれた数を表示

# BookLooperを利用した アクティブラーナーランキングのご紹介

M2Bシステムの利用履歴を数値化して、学生のランキングを表示します。

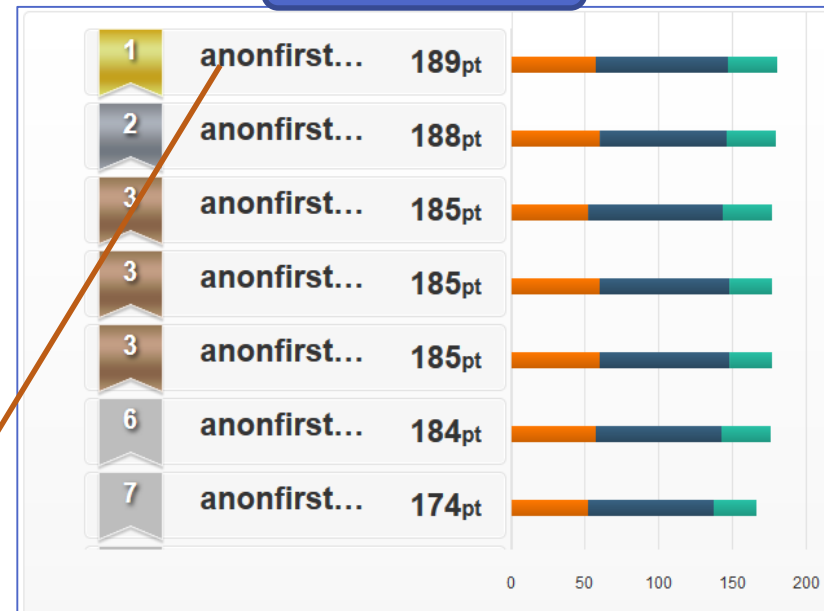
学生画面



自分のランキング・氏名のみ表示  
他学生はポイントのみ表示

全学生のランキング・氏名を表示

教員画面



凡例: Moodle  
 Booklooper  
 Mahara  
 出席 小テスト 提出 Moodleログイン  
 マーカー数 メモ数 アクション数 教材参照(授業外)  
 日誌文字数

# BookLooperを利用した 閲覧ページランキングのご紹介

1	01-C言語入門-helloC	p.10	33600pt
2	A-09-情報量とエントロピー	p.2	32375pt
3	C-03_デジタル画像処理	p.8	307688pt
4	A-09-情報量とエントロピー	p.8	30495pt
5	A-09-情報量とエントロピー	p.10	30476pt
6	C-01_コンピュータにとっての目・耳	p.10	30439pt
7	A-09-情報量とエントロピー	p.9	30080pt
8	C-03_デジタル画像処理	p.1	29944pt
9	C-03_デジタル画像処理	p.10	29940pt
10	14-ファイル入出力	p.1	29911pt
11	C-03_デジタル画像処理	p.4	29780pt

Booklooperの各教材の閲覧ページのランキングを表示します。

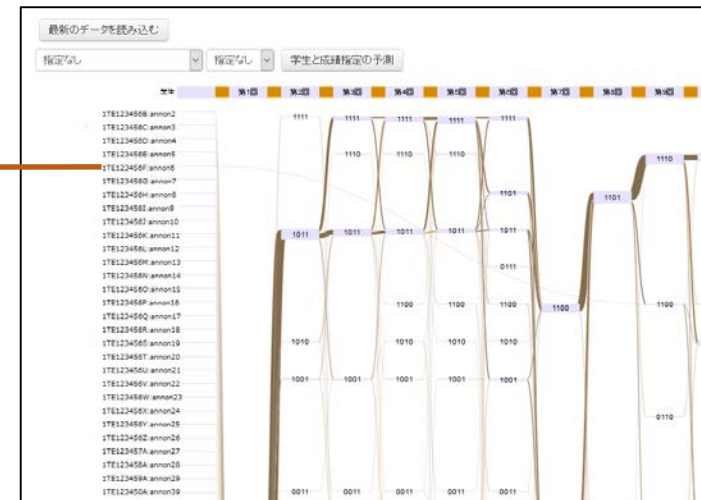
表示画面は  
教員・学生ともに同じです

教材名の色は、上位3つの教材について、教材名をカラー表示します。

# BookLooperを利用した 学習活動成績予測グラフのご紹介

過去のmoodleコースでのデータ（**出欠・授業外学習・レポート提出・小テスト**）から形成された学生の学習パターンを元に、現在のコースにて学生の成績を予測します。

教員：全学生の学籍番号・氏名を表示  
学生：自分のみ氏名・学籍番号を表示  
他学生は匿名化で表示



このままの  
学習状況で  
大丈夫？

「A」をとるに  
は、どんな  
ルートを通れ  
ばいいの？

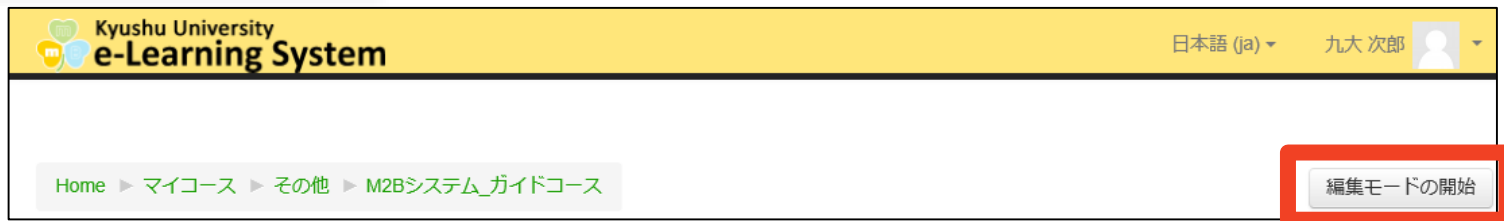
他の学生はどれ  
くらい頑張っ  
ているの？



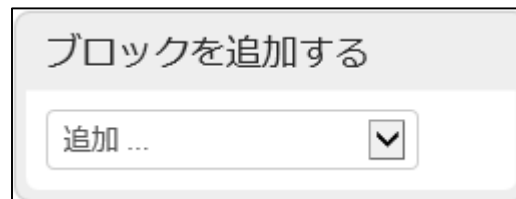
# ブロックを追加する

紹介した機能を利用するには、ブロックを追加してください

## 1. 編集モードの開始をクリック



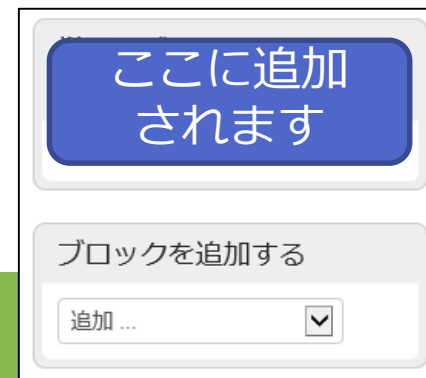
## 2. 画面左下に



が現れます

## 3. 追加するブロックを選択

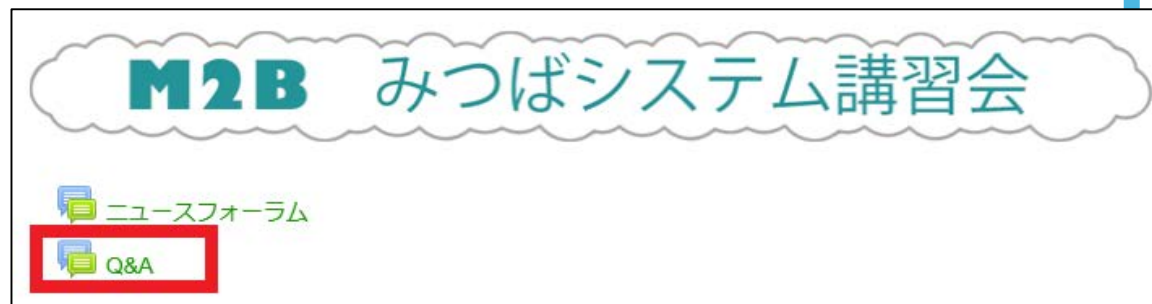
## 4. ブロックが追加されます



# Q & A フォーラムについて

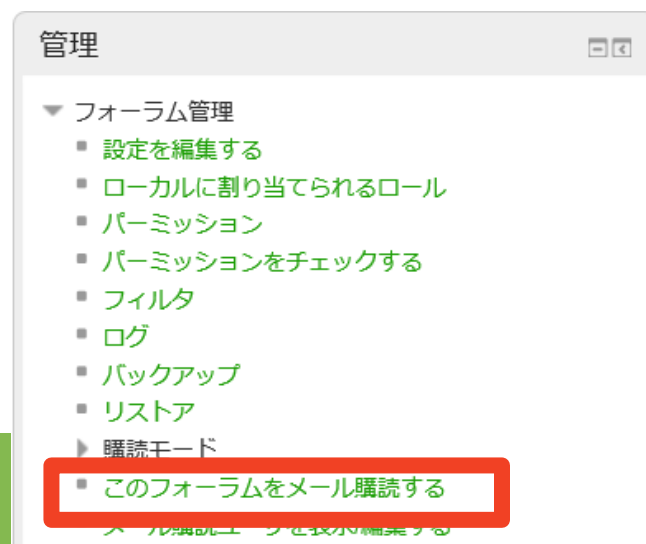
皆さまのご質問にM2B事務局が回答いたします。

「Q & A」フォーラムより、  
お問合せください。



質問する場合は、**ディスカッショントピックを追加する** をクリックします。

「メール購読」すると、トピック  
を追加されるたびにメールを受け  
取ることができます。



# 分析レポート(BookLooper)

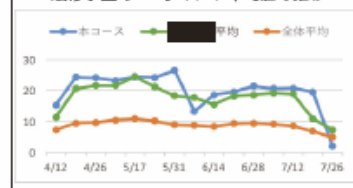
No.1 教材へのアクセスのグラフ



No.2 閲覧ページランキング

順位	タイトル	ページ	ALポイント
1			4808
2			2605
3			1953
4			1269
5			1168
6			990
7			997
8			772
9			656
10			542
11			513
12			502
13			457
14			477
15			398
16			385
17			379
18			385
19			373
20			347

No.4 アクティブラーナー (AL) プロセス  
履修学生の AL ポイント平均値の推移

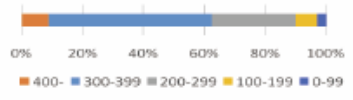


No.5 検索ワードランキング

順位	ワード	回数	4	3
1		4	4	3
2		4	4	3
3		4	9	3
4		4	0	2
5		3	0	2
6		3	9	2

No.3 学生のアクティブラーナー (AL) ランキング

順位	名前	ALポイント
1		437
2		436
3		421
4		414
5		410
6		400
7		404
8		401
9		388
10		388
11		381
12		368
13		366
14		360
15		359
16		359
17		358
18		358
19		353
20		350



4月を手探り状態の中 BookLooper の導入が進み、5月になると閲覧人数も安定して推移しています。6月以降は授業数は減ったものの授業外でも多くの利用が見られました (No.1 表)。  
本コースでは、授業中、授業外と共に利用していた学生が多く自立しました (No.1 表)。  
授業前後で予習、復習が積極的に行われていた様です。 (2016/08/01 現在のデータ使用)

補足説明	
No.1 グラフ解説	Mahara の日誌まとめ M2B システムの e ポートフォリオシステム Mahara から先生の講義を受講した学生の日誌を収集、分析してレポートを作成しました。 先生の今後のご活動にお役立て下さい。 同フォルダ内の HTML ファイルをご覧ください。 MaharaReport2016-2017.html
アクティブラーナー (AL) ポイントとは?	アンケートのお願い 出席、小テスト、レポート結果や、BookLooper を用いた学習時間、マーカー数、日誌の文字数などをポイントに算出してまとめたものです。 AL ポイントはカスタマイズが可能で、対象から外したり、尺度の重み付けを変更することができます。詳しくは以下のマニュアルをご覧ください。 <a href="http://ackyushu-u.ac.jp/m2b/index.html">http://ackyushu-u.ac.jp/m2b/index.html</a> 【1-1-2 教師用】 M2B 学習支援システム教師用マニュアル 5.2 アクティブラーナープロセス
M2B システムお問い合わせ	アーカイブ 【教職員の方の問い合わせ先】 九州大学 伊都キャンパス ウェスト 1 号館 A201 号室 m2b-office@artsd.kyushu-u.ac.jp 092-802-5857(内線 90-5857) 【学生の方の問い合わせ先】 九州大学 伊都キャンパス センター 1 号館 1410 号室 m2b-office@artsd.kyushu-u.ac.jp 092-802-5892(内線 90-5892)



# 分析レポート(Mahara)

## Mahara分析レポート: 2016年度前期

今期の講義お疲れ様でした。

MBシステム内のポートフォリオシステム Mahara から先生の講義を受講した学生の日誌を収集、分析してレポートを作成しました。先生の今後のご活動にお役立て下さい。

なお、本レポートの機能を最大限活用するには、モバイル端末上ではなく、PC上で閲覧することをお勧め致します。

## 統計値

いくつかの基本統計情報を以下に示します。

エントリとは学生がMaharaの日誌に書き込む一回分の書き込みのことです。

項目	値
総エントリ数	1664
総文数	2994
総単語数	21354
文数/エントリ	1.80
単語数/文	7.13
単語数/エントリ	12.83

## 回ごとの特徴的な単語ランキング

各回ごとに特徴的な単語を抽出して、ランキングとしてまとめたものを下記に示します。

名詞、形容詞、動詞、数詞の4語類について、それぞれの最大10回分、上位最大10位までの単語を表にまとめました。活用のある品詞については、単語の原形マウスカーソルを単語に当てると、その単語の他の回における出現をハイライトすると同時に、発音にその単語を使用している文をポップアップ表示します。ポップアップはなしにすることで、ポップアップが移動したり消えるのを防ぐことができますので、カーソルをポップアップ内に移動するのに利用できます。には表示を閉鎖

## 名詞

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 何故	1 特	1 どう	1 多々	1 たとえ	1 家外	1 初めて	1 まあ
2 とても	2 2	2 ある程度	2 いきなり	2 正しく	2 こんなにも	2 ちょっと	2 意外と
3 特に	3 3	3 あんなに	3 ます	3 比較的	3 どうどう	3 意外と	3 (3)ば
		4 ついに	4 多少	4 何とか	4 一旦	4 よく	4 (3)とんど
		5 どう	5 第4回の「何故」を含むエントリ				5 まだ
		6 一気					6 ず
		7 少し					7 と
		8 ちょい					8 とか
		9 何故					
		10 よく					

## 形容詞 グループビンダなし ポジ/ネガ

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 上手い	1 短い	1 悪い	1 よろしい	1 悪い	1 面白い	1 軽い	1 悔しい
2 興味深い	2 面白い	2 難しい	2 ややこしい	2 良い	2 詳しい	2 重い	2 少ない
3 ない	3 にくい	3 新しい	3 難しい	3 悪い	3 恐ろしい	3 懐かしい	3 良い
	4 広い	4 大きい	4 づらい	4 高い	4 大きい	4 大きい	4 嬉しい
	5 強い	5 欲しい	5 難しい	5 数学っぽい	5 重たい	5 早い	5 早い
	6 多い	6 多い	6 正しい	6 長い	6 少ない	6 短い	6 短い
			7 悪い	7 悪い	7 悪い	7 悪い	7 あっけない
			8 にくい	8 面白い	8 面白い	8 面白い	8 嬉しい
			9 何故	9 良い	9 数学っぽい	9 数学っぽい	9 数学っぽい
			10 素早い	10 正しい	10 正しい	10 正しい	10 正しい

## 動詞

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 これから	1 特	1 どう	1 多々	1 たとえ	1 家外	1 初めて	1 まあ
2 とても	2 2	2 ある程度	2 いきなり	2 正しく	2 こんなにも	2 ちょっと	2 意外と
3 特に	3 3	3 あんなに	3 ます	3 比較的	3 どうどう	3 意外と	3 (3)ば
		4 ついに	4 多少	4 何とか	4 一旦	4 よく	4 (3)とんど
		5 どう	5 第4回の「何故」を含むエントリ				5 まだ
		6 一気					6 ず
		7 少し					7 と
		8 ちょい					8 とか
		9 何故					
		10 よく					

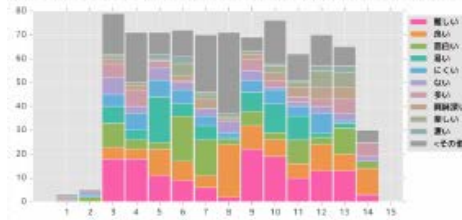
## 動詞 グループビンダなし ポジ/ネガ

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 始める	1 驚がる	1 計算する	1 訂正する	1 解読する	1 出す	1 間違える	1 慣れる
2 しめる	2 進める	2 表観する	2 増や	2 算する	2 守る	2 とれる	2 算する
3 進める	3 やる	3 くる	3 指から	3 できる	3 (3)ば	3 知る	3 くる
4 をする	4 ある	4 速う	4 求める	4 第4回の「何故」を含むエントリ			
5 いく	5 下がる	5 伝える	5 どの	5 どの			
6 いる	6 思う	6 できる	6 どう	6 どう			
7 なる	7 しめる	7 分かる	7 分かる	7 いる	7 できる	7 終わる	7 知る
8 下がる	8 出る	8 せらる	8 繰返す	8 出す	8 思う	8 取る	8 やめる
9 知る	9 表す	9 ワクワクする	9 送る	9 持つ	9 求める	9 挽回する	9 上昇する
10 分かる	10 思う	10 似合う	10 比べる	10 できる	10 聞く	10 できる	10 入れ替える

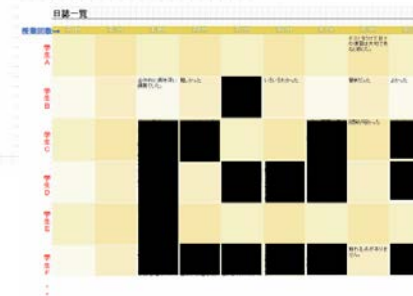
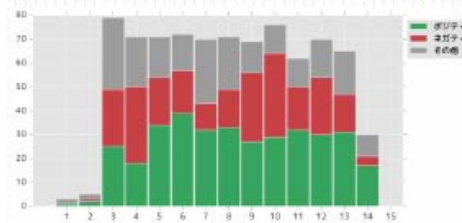
## 形容詞の使用頻度の推移

学生が日誌中で使用した形容詞について、各回ごとにそれぞれの使用頻度の推移を求め、グラフにしました。

活用形は全て原形に揃えて表示しています。凡例中上にある単語ほど、全10回での使用頻度の高い単語です。縦軸は頻度が高い、上10単語についてです。



以下は、形容詞をポジティブ、ネガティブ、その他に分類し、それぞれのグループごとの使用頻度の推移をまとめたグラフです。





# 補足資料

- Moodleの利用を開始するには？

# マイコースから自分の講義を探す or 検索



コースを検索する:

Go

## マイコース

♥ テストコース (M2B講習会2016年2月19日\_伊都)

出欠レポート



♥ テストコース (M2B講習会2016年2月18日\_箱崎)

出欠レポート



♥ テストコース (M2B講習会2016年2月18日\_馬出)

出欠レポート



♥ テストコース (九大)

出欠レポート



シラバスを参照

すべてのコース

## コース

▼ すべての折りたたむ

▼ 2014年度【後期】

# Moodle 授業コースの名前

YYYY年度○期・W△・科目名（教師名）

（例）

2015年度前期・月1・プログラミング演習（九大太郎）

YYYY : 西暦年度

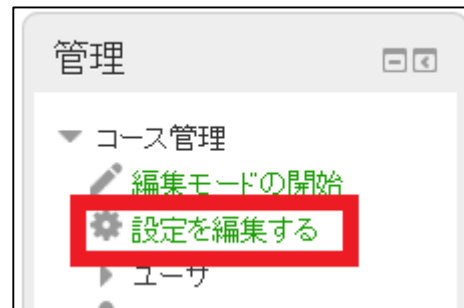
○ : 前期または後期

W : 曜日

△ : 時限を数字で記入

# Moodle 授業コースの表示化

1. マイコースから授業コースを開く
2. 管理ブロックから「設定を編集する」を開く
3. 可視性を「非表示」から「表示」に変更



検索してコースが見つかる場合は、  
「表示化」すると利用開始できます

# M2Bシステム利用申込

こんな場合は、[M2Bシステム利用申込フォーム](#)より申請してください。

## Moodle画面

日本語 (ja) あなたはログインしていません。(ログイン)

サイトニュース

「M2B定例交流会」開催のお知らせ  
2016年 01月 07日(木曜日) 11:24 - M2B 事務局 の投稿  
九州大学教職員を対象に、M2Bシステム利用方法の情報共有を目的とした交流会を開催いたします。詳しくは添付ファイルを参照ください。  
日時: 1/21(木), 2/19(金), 3/23(水)  
16時40分～17時30分  
場所: センター3号館5階 3501室  
(編集 umemoto junko - 最初の投稿日時 2015年 12月 10日(木曜日) 14:00)  
M2B定例交流会の開催について.pdf

〜LINK〜

- 自分の日誌を書く
- 共有された日誌を見る

マニュアル

- Moodle/Maharaマニュアル
- BookLooperマニュアル

その他

- システムの利用同意書を提出
- 新入生向け情報システムの説明
- M2Bシステム利用申込**

### M2Bシステム利用申込フォーム

空欄を印刷する

M2Bシステムを利用する場合は、こちらのフォームより申込みください

- 開講年度を選択してください  
選択 ...
- 開講期間を選択してください。(※はクォーター科目)
  - ☐ 前期
  - ☐ 前期前半(＃)
  - ☐ 前期後半(＃)
  - ☐ 後期
  - ☐ 後期前半(＃)
  - ☐ 後期後半(＃)
  - ☐ 通年
  - ☐ 通年集中

- Moodleでコース検索しても見つからない
- Maharaで学生にポートフォリオを書かせる
- BookLooperに教材を登録する

# 課題、小テスト、投票などの活動の追加方法

- 対象のコースを選択
- 右上の「編集モードの開始」を選択
- 「活動またはリソースを追加する」を選択
- 課題などを選択

編集モードの開始

The screenshot shows the Moodle interface for a course titled '九州大学 e ラーニングシステム'. The top navigation bar includes the course name, language '日本語 (ja)', and a user profile icon. Below the bar, a breadcrumb trail reads 'Home > コース > その他 > テストコース(講習会2016年2月18日)'. A red box highlights the '編集モードの開始' (Start Edit Mode) button in the top right corner. On the left, a 'ナビゲーション' (Navigation) sidebar lists 'Home', 'マイホーム', 'サイトページ', 'マイプロフィール', and '現在のコース' (Current Course), which is expanded to show 'テストコース(講習会2016年2月18日)' and its sub-items: '参加者', 'バッジ', '一般', 'トピック 1' through 'トピック 6'. The main content area features a 'ニュースフォーラム' (News Forum) icon and three topic sections labeled 'トピック 1', 'トピック 2', and 'トピック 3', with 'テストメッセージ' (Test Message) listed under 'トピック 2'. On the right, a '〜LINK〜' (Links) sidebar contains links for '自分の日誌を書く' (Write your diary), '共有された日誌を見る' (View shared diary), 'マニュアル' (Manual) with links to 'Moodle/Mahara マニュアル' and 'BookLooper マニュアル', and 'その他' (Others) with links to 'システムの利用同意書を提出' (Submit system usage consent), '新入生向け情報システムの説明' (Introduction to the information system for new students), and 'M2Bシステム利用申込' (M2B system usage application).